

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームえくぼ

(ユニット名) ふじ

記入者(管理者)

氏 名 兵頭崇将

評価完了日 平成 20 年 6 月 6 日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			皆が理解し易く、えくぼ独自の理念を作れている ユニット内に掲示しており職員一同念頭において介護に取り組めている		
			(外部評価)		
			「利用者のその人らしい暮らしを支える」を理念に揚げ、一人ひとりが地域とかかわりながら、暮らしていくことを目指しておられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々理念を念頭に置き介護に取り組んでいる		
			(外部評価)		
			理念を居間に掲示し、いつでも見ることができるようになっている。現在は、理念について話すような機会は少なくなっている。		今後、事業所で行われる勉強会で理念について確認するような機会を持つことを計画されていた。さらに、事業所が目指すことを全職員で共有し、日々取り組めるような仕組み作りが期待される。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族への理念の理解はあると思うが、地域となると、どの程度理解してもらっているか、分らない		運営推進会議等を通して地域の方々に十分に理解浸透していただけるような取り組みを行いたい

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームの畑で飼っている山羊を近所の方々が見に来たりと、気軽に日常的な付き合いができています		気軽に立ち寄ってもらえる環境を作っていきたい
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近所の小学校の運動会の見学や、ホーム主催の夏祭り等を通して、近所の方々との交流に努めている		
			(外部評価) 事業所は、町内会に加入された。事業所で行う夏祭りには地域の方も参加し、楽しまれている。		ご家族から、地域の方の理解を得るために、事業所の広報誌を発行してはどうかというような提案もいただいている。事業所の取り組みを近隣の方達にもさらに知っていただけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 話し合いは行なえていないが、開放的な環境作りを心掛けており、地域の高齢者との交流も今後是可以すると思う		運営推進会議等を通して地域の方々に十分に理解浸透していただけるような取り組みを行いたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を実際に運営者・管理者・職員で行い現状を把握してはいるが、具体的な改善に十分に取り組めていない		外部評価や相互評価に取り組み、客観的に問題や改善点を捉え、職員ミーティング等で題材に取り上げ、改善・変更に取り組みたい
			(外部評価) すべての職員で自己評価に取り組み、ケアの振り返りや再確認をされた。前回の外部評価をもとに項目ごとに改善計画を作成し、町内会に加入し、地域との付き合いを深めたいと考えておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			評価への取り組み状況等の報告、話し合いを行なえて いおり、運営推進委員の方々にアドバイスしていただ いたことをサービス向上に活かしている		
			(外部評価)		
			会議に、町内の方が参加することでホームを知ってい ただくことができた。前回の評価結果についての改善 の取り組みについて説明した。		さらに事業所のことを知っていただけるような取り組 みや、意見を出してもらえる働きかけの工夫を重ねて いかれることが期待される。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営推進委員会に市の介護保険課の担当の方、市社協 の担当の方に参加していただき、サービスの質向上に 取り組んでいる		
			(外部評価)		
			代表者・管理者が市の担当者を訪問し、利用者のご事 情のこと等について相談することもある。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			地域福祉権利擁護事業や、成年後見人制度について研 修や勉強会に参加し、必要な方々にはそれらを活用で けるように支援している		必要だとされる方には、各制度の必要性を説明し、支 援しているが、現在この制度を利用されている方はい ない
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修を通して高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会 を持ち、見過ごすことがないように努めている		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い、理解・納得してもらったうえで契約・解約を行っている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を外部者へ表せる機会を設けている。 (苦情・意見箱の設置 第三者機関への連絡方の表記)		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 個別に運営者、管理者、担当職員が行えている		月に1回は手紙で近況報告を行なっている
			(外部評価) ご家族の来訪時や毎月、手紙でご本人の暮らしぶり等、近況報告をされている。		遠方のご家族への報告の工夫についても話し合われてみてほしい。又、ご家族との関係を深めていくためにも、事業所の取り組みをさらに知っていただけるような報告の工夫が期待される。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を外部者へ表せる機会を設けている (苦情・意見箱の設置 第三者機関への連絡方の表記)		
			(外部評価) ご家族の来訪時には意見や要望をお聞きしている。運営推進会議にご家族も出席され、事業所の取り組みについて意見をいただくこともある。		さらに、ご家族同士が交流するような機会作り等も検討されてみてはどうだろうか。又、ご家族が意見を出しやすいような機会や雰囲気作りの工夫も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			特別な機会は設けていないが、個別に対応し、月々のユニット毎の会議で繁栄できるような話し合いの場を設けている		もっと積極的な意見の交換の場になるような機会に今後していきたい
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			ユニット毎、職員の人数状況、季節によって勤務出勤時間や勤務時間帯の調整を行えている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			職員の確保が難しく、現在は離職に伴う利用者へのダメージは否めない状況		異動や離職に伴う利用者へのダメージを防ぐ配慮を更に強化するように、検討中
			(外部評価)		
			1年間、職員の異動はなく、利用者と職員は馴染みの関係ができておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			法人内外の研修を段階に応じて機会を与えている		定期的な研修参加を勧めながら、働きながらトレーニングできるような計画を立てたい
			(外部評価)		
			毎月、課題点等、テーマを決めて勉強会を行っておられる。現在、外部研修受講の予定を立て、職員が順番に受けられるよう、すすめておられる。		さらなる職員のレベルアップから、事業所のさらなる質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	(自己評価)		
			相互評価事業に参加を毎年行ってる 職員個々のネットワークを利用した情報交換を行えて いる		今後もネットワーク作りを積極的に行い、お互いの サービス向上に努めたい
			(外部評価)		
			県GH協議会の相互評価事業に参加され、他事業所と意 見交換や悩みを相談されたり、他事業所の支援を見る ことでの気づきもあった。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽 減するための工夫や環境づくりに取り組ん でいる	(自己評価)		
			1日の仕事の流れの中で息抜き、休憩をスタッフ同士で 相談しながら行なえている		
22		○向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	(自己評価)		
			向上心を持って働けるように努力している		更に働き易く、誇りの持てる職場環境づくりに努力し たい
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困って いること、不安なこと、求めていること等 を本人自身からよく聴く機会をつくり、受 けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居初期の不安や求めていることを自然な形で聞き取 りを行えている		聞き取り行えていると思うが、更に本音を聞きだせ るように努力したい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居初期の不安や求めていることを自然な形で聞き取りを行えている		聞き取り行えていると思うが、更に本音を聞きだせるように努力したい
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			入居に際して、施設の見学、本人の同意、家族の意向の調査を行って、当然他のサービス利用も含めた対応に努めている		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			入居までに1度ホームに来ていただきホームの雰囲気、職員の勤務状況を本人・家族に見学していただきその上でより細かい相談に応じるようにしている		
			(外部評価)		
			入居前に、職員が利用者を訪問しお話をされたり、利用者・ご家族に事業所を見学していただき、納得いただいてから入居できるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			職員と利用者はホーム内での生活の中で喜怒哀楽を共にしている		意思の疎通が十分に行なえない症状の方の対応が今後の課題である
			(外部評価)		
			職員は、利用者と話すことで癒されたり、利用者に料理方法や生活に役立つ知恵を教わることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をいろんな事に巻き込む事によって、一緒に本人を支えていく関係を築いている		今後更に家族の訪問を促進できるような催し物や行事を考えていきたい
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 普段あまり来訪されない家族には利用料の請求時に手紙で本人の様子を知らせている		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 個人差はあるが、知人等の家族以外の方も自由に訪ねてこられる環境で、本人のグループホーム内の生活の支援が行なえている		
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個々の性格もあり全員良好というわけにはいかないが、間に職員が入り、それぞれ自分のペースで生活ができている		ADLの自立度が高い方が介護度の高い方を身の回りのこと(洗濯物の取り込み等)を助けてあげる様に職員が声掛け誘導している
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 今までの退去、転居のケースによってはこちら側からアプローチする事は困難		関係を断ち切らないような付き合いができるように関係を構築していきたい

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人に危険がない限りホーム内では自由に生活していただいている		アセスメントの充実を図り思いや意向の把握をしっかりと行なう
			(外部評価)		
			意志表示がむずかしい利用者に対し、レクリエーションや声掛け時等の反応からご本人の意向を探るようにされている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族の聞き取り調査を元に行っている		聞き取り内容を職員全員が十分に把握するように徹底して行きたい
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			本人に危険がない限りホーム内では自由に生活していただいております、自分でできる事は極力自分でいただき、ADL低下の予防に努めている		より利用者の声に耳を傾け、アセスメントの充実を図り思いや意向の把握をしっかりと行なう
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			月1回のミーティングの意見を元に、介護計画を作成している		本人・家族の希望をもっと反映できるような介護計画の立案方法を考えていきたい
			(外部評価)		
			現在、職員で話し合って作成した介護計画をご家族に確認していただいている。		今後、ご家族の意見等を聞き取り、計画に採り入れていきたいと考えておられる。書式の工夫も検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			計画作成担当者が中心になり、定期的(3ヶ月に1回) な見直し、又は、本人の状態に変化があればその都度 見直しを行なっている		本人・家族の希望をもっと反映できるような介護計画 の立案方法を考えていきたい
			(外部評価)		
			3カ月ごとに計画内容について評価を行い、介護計画 を見直しておられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別の記録に記入はできているが、見直しに十分な形 で活かしてはいない		個別の記録が十分に活かせるように、担当介護者と計 画作成担当者、本人と家族が十分に検討し介護計画を 作成し介護計画の質向上を目指したい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			その時々に応じた柔軟な支援を心掛けてはいるが、十 分に多機能性を活かしているかは、まだまだ活かせる 余地はあると思う		病院受診や買物介助の同行等の援助は行なっている
			(外部評価)		
			病院の受診、買い物や観劇・絵画鑑賞等、職員が同行 して支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) パン教室や絵手紙教室等行事の一つとして定着している 行事の際には民生委員、ボランティアの方にも参加してもらっており、消防には火災訓練指導もしてもらっている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今までのケースではこのようなケースはないので判断しかねる		今後このようなケースがあるようなら、各関係機関と連携し支援していきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今までのケースではこのようなケースはないので判断しかねる		今後このようなケースがあるようなら、各関係機関と連携し支援していきたい
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 適切な医療が随時受けられるように支援している (外部評価) かかりつけ医の往診が月2回あり、必要に応じて他の専門医の受診も支援されている。		かかりつけ医の月2回の往診 専門医（皮膚科、眼科、整形外科）への随時受診 かかりつけ医以外の受診・往診
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 特別に認知症の専門医との関わりがあるような関係作りは行えていないが、当ホームのかかりつけ医がカバーしてくれている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			定期的な受診往診時に、アドバイスや相談を行なえている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			病院関係者と管理者が中心となって、十分に情報交換を行い、早期退院に向けた協働が行えている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			家族・担当医療機関・GHを交えて方針の共有を行なえている		
			(外部評価)		
		事業所で終末期のケアについて勉強会を行い、家族・医師とも話し合っ方針を確認されている。			
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			現在重度・終末期の利用者はおらず、利用者の変化に合わせてカンファレンスを行い現状維持に努めているが、重度化については十分に検討できていない		勉強会時に終末期についての説明があった 今後も知識を深めていきたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			当ホーム、医療機関、転居先との情報交換を十分に行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個々を尊重し言葉遣い等にも配慮できていると感じる 記録等の管理も個人情報の保護に努めている		排泄介助の誘導の声掛けを他の利用者に聞こえないよ うに行なっている 『おじいさん』『おばあさん』という名前の呼び方では なく、個人名を呼ぶように心掛けている
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、利用者の横に座り、やさしく語 りかけておられた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	(自己評価)		
			本人が持っている能力を引き出し、必要以上の介助は しないで、見守り中心の支援を心掛けている		生活場면을十分に観察し、本人が“できること”と “できないこと”を見極め、支援方法を把握している
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	(自己評価)		
			入浴・食事・排泄・起床・入眠等の1日の流れの中の支 援全般を個々のペースに合わせた支援を行なっている		利用者一人ひとりの起床から入眠までまでの24時間の 生活リズムを更に把握し、その中で人との交流や自由 の楽しみを見つめられるような援助をしたい
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりの希望を大切に、ご本人が 望まないことをしないように心がけておられる。調査 訪問時、居室で休まれる方や居間でくつろぐ方、外の ベンチでご家族の方がされる農作業を眺める方等、そ れぞれのペースで過ごしておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族に衣類を持ってきていただき、なるべく本人が納得していただけるような身だしなみをしてもらってます 希望があれば、家族と一緒に外出されてます		利用者の『そのひとらしさ』を本人・家族と相談し把握したい
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事や間食に好みのものを取り入れた献立作りを行なってる 台拭きやエプロンの準備等はできる方に手伝ってもらってる		なかなか自発的に自分の希望や要望を伝えることのできない利用者が多いので、個々の嗜好調査を行い、間食に力を入れてみたい
			(外部評価) 調査訪問時、ダチョウの卵を使って、ホットプレートで全員分の卵焼きを焼き、会話の弾む食事の時間を過ごされた。準備や片付けも利用者・職員が協力して行っておられた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 毎週ヤクルト・パンの販売がホームに来るのを楽しめるようにしている		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作成し、個人の排泄パターンに合った、排泄介助を行なっている		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価)		
			3日に1度は最低入浴していただけるようなシフトを組 んでおり、1日に3名は入浴している 入浴の希望を聞いて支援を行なっていますが、本人の体 調不良や、入浴を拒否される方はタイミングを見計 らって支援してる		入浴者が気持ち良く希望通りに入浴できるような関わり や声掛けを実践する
			(外部評価)		
			朝や夜に入浴される利用者や毎日入浴を希望される方 にも、柔軟に支援されている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	(自己評価)		
			個々に合った安眠や休息をとってもらえるような支援 をしている		体調の変化や容態に気付けるような見守りを実践し、 適切な安眠休息ができるような支援を行なう
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	(自己評価)		
			季節の行事や散歩等の外出、パン教室や絵手紙教室の ボランティアの来訪行事を行い、楽しみごと・気晴ら しの支援に努めてる		
			(外部評価)		
			利用者に食事作りや後片付け等の役割を持っていた だけよう、職員は声をかけておられる。事業所内で絵 手紙教室やパン教室等を行い、楽しむ機会を作ってお られる。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価)		
			自己管理できる方がいない為、職員が家族の同意のも と、管理している		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			十分に希望に添えていないが、天気によっては近所への散歩を行なうように心掛けている		月1回の外出日を設定し、外出する
			(外部評価)		
			日々の散歩の他にも定期的に外出の日を設けて、すべての利用者が外出できるよう支援されている。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			十分な外出支援が行なえていない		本人、家族、ユニットの職員同士で『何処に行きたいか』『何をしたいか』を検討し実現するような取り組みを行ないたい
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙を書くことや電話を使える方には希望があれば使用できるように支援できているが、そういう方がほとんどいない。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			常識の範囲内の時間帯であれば出入り自由にできるようにホームを開放している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 事故に繋がる不安から安全策と称して職員の都合を優先しまいがちであるが、ミーティングを通じて注意点を見出し、身体拘束しないケアに取り組んでいる		危険でない限りは十分な見守り介護で対応し、どうしても身体拘束の必要な方には家族の承諾のもと、期間・時間を設定し行なうようにしているが、現在は対象者はいない
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外は常識の範囲内で開放している (外部評価) 調査訪問時、利用者が玄関先のベンチへ自由に出入りされており、職員は見守っておられた。		玄関はセンサー式のチャイムがあり、人の出入りを職員が認知できるようになっている 利用者がホームを出て行こうとされる場合、なるべく本人の意思を尊重し寄り添う形で付き添うようにしている
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 個々の行動パターンを理解し見守ることに徹する 夜間は定期的に訪室して利用者の安全を確認している		移動される場合、手をつないだり、会話をしながら本人の歩調に合わせて同行している 利用者の行動上に常に職員の目が届くように確認を怠らないようにしている
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて危険を防ぐ取り組みが行えている		利用者が興奮時に暴力行為に及ぶ物品は必要時に手渡しするように保管している
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 苦情・事故の事例をケースごとに研究し事故防止に取り組んでいる		常にあわてない対応を実践できるように、常日頃、勉強会やミーティング時に確認するようにしている

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会・ミーティングを通して職員間で共通の認識を持っている		目のつくところに『緊急時の対応』を掲示している
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ホーム全体で避難方法の訓練を行なっている (外部評価) 消防署の協力を得て、夜間を想定した避難訓練を実施され、避難経路を具体的にされた。		周辺住民には十分に対策を行なえていないので、今後運営推進会議を通じて協力が得られるように働きかける いざという時に地域の方の協力が得られるような関係作り等、運営推進会議の機会を活かして、取り組みをすすめていかれることが期待される。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時にどのような変化で連絡するか決めており、家族の訪問時やケアプラン等でも変化を伝え、情報の共有に努めている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日決められた時間帯のバイタルチェックや排泄状況の把握を行い、変化があれば注意して観察を行い、状況によってはかかりつけ医に連絡し、対応の指示を仰いでいる		各職員が情報の共有を図るために、状態状況の変化を把握できるように個人の記録を確認している

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬チェック表、薬仕訳票、服薬見本を使用し確認をきちんとできるようにしている。		服薬を嫌がる方には、薬の形を変えたり、服薬方法を試行錯誤して服薬してもらってる
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給と食事で、便秘予防している 必要に応じて便秘薬を服用している		便通を良くする体操等に取り組んでみたい
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、自分でできる方には自分で行なってもらい、できない方には介助で口腔ケアを行なっている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりに合わせて支援できている (外部評価) 畑で採れる野菜をふんだんに使用し、バランスを考慮してメニューが作られている。水分摂取について記録して把握し、支援されている。		体調に合わせた水分補給方法を個別に行い、いろいろ品を変え行っている 食事の量やカロリー等についても、時に職員で話し合うような機会を作ってみてはどうだろうか。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 予防、対応を実行できている。		マニュアルを作成し、感染予防に努めている

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 安全な食材の使用管理ができています。		調理したものをサンプルに取り、保存(3日間)している
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ホーム前には自家菜園があり、その中で山羊を飼育し近隣の方にとって親しみやすい環境となっている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 交流室やリビング、玄関には季節の草花を飾ったり、掲示板には四季折々の風物詩を取り入れた物を飾っている (外部評価) 共用空間にはメダカを飼っておられ、草花が各所に飾られていた。利用者の書いた絵手紙等も飾られていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 各場所で憩えるように椅子を配置し自由に過ごせていただけるようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入所時点で、本人・家族によってセッティングされその配置を活かし生活されている (外部評価) 居室には、ご本人の馴染みの家具が持ち込まれてあり、畳の間に布団を敷いておられる方もあった。テレビや机も置かれ、利用者個々が居心地よく過ごせる空間を作っておられた。		居室内の配置を変える場合には必ず本人の目線で決めていただき、配置換えを行い、居心地よく過ごせるようにしている
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 季節によって冷暖房の設定温度を調節し、換気にも十分配慮している		エアコンを嫌がる方や、体温調節の難しい方には衣類や寝具で調節するようにしている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫できている		建物内は全てバリアフリーでできており、随所に手すりの設置、少しの力で開閉可能なドア等、高齢者でも自立した生活が送れるような工夫がされている
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫できている		個人の能力、集中力を考慮したうえで、簡単な作業(もやしの根切り、新聞たたみ)を手伝っていただき、満足感と自信を感じていただいている
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			テラス、玄関先の空間を利用し、自然や四季を肌で感じられるようにしている		穏やかな日は玄関先やテラスでおやつやお茶、日光浴を楽しむようにしている

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者本人に危険がない限り、自由に暮らしてもらっている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつの時間にはかなり話が弾む
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自由に過ごされている様子が伺える
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員とのコミュニケーション中によく笑顔が見られるから
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	外出はほとんどされない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	往診等の医療連携がとれている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日規則正しい生活が送れている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問される家族とは何でも話していただけるように職員全員で心掛けている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	家族が訪問されない方でも、知人友人が訪問してくれている

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 ② 1 大いに増えている 評価) 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員さんが率先してホームの行事に参加・手伝いを行なってくれて徐々に理 解者・応援者が増えてきているように思える
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ① 1 ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2 / 3 くらいが 3 職員の1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	良い信頼関係が職員同士で築けており、生き活きと働けているように感じる
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ② 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2 / 3 くらいが 3 利用者の1 / 3 くらいが 4 ほとんどいない	まだまだ更なる利用者の理解に努め、更に満足した生活を営めるような関わりを持ち たい
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ② 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2 / 3 くらいが 3 家族等の1 / 3 くらいが 4 ほとんどできていない	まだまだ更なる利用者の家族の理解に努め、更に満足した生活を営めるような関わり を持ちたい

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

○利用されている方々が、家庭的で開放感のある生活が営めるように、空間作りや、利用者同士や職員の関わりを大切に生活してもらってます。

○立地環境が抜群に良く、住宅地でありながら、田畑が広がりゆったりと過ごすことができます。

○四季の移り変わりを堪能でき環境は申し分ありません。

○ホームの向かいにはとても広い土地を活用し、利用者のご家族さんのお手伝いも頂き、ホームの菜園も作っており、新鮮な野菜を楽しむことができます。

○マスコットとして山羊も飼育しております。

○職員も利用者も共に生活を営むというスタンスで日々の生活を楽しく送ってます。